

大学・専門学校の部(1/5)

新潟県農業大学校

取組名：

コメの無農薬・無化学肥料栽培

取組概要：

今までお米は沢山食べてきましたが、その中に無農薬無化学肥料栽培のものがなかったので興味をもちました。

2年生になり、50aの圃場を好きな課題で取り組むことができるようになったので挑戦しています😊

無農薬栽培は大変だけど、自分が農大に入ってやってみたかったことなので頑張っています！



日本自然環境専門学校 チーム名：クレイジーズッキーニ

取組名：

有機農業と地域の生き物
～農家の技術と保全の物語～

取組概要：

20年以上有機農業を営む農家の田んぼにいる生き物を調査・採取し、地域で行われるイベントを通じて紹介することで生き物を守る目線での環境保全を推進したい。

今回の取り組みを通じて、身近にいる生き物が環境を支えてくれている事を知ってもらえたらいいな。



大学・専門学校の部(2/5)

石川県立大学

チーム名：石川県立大学バイオガスチーム

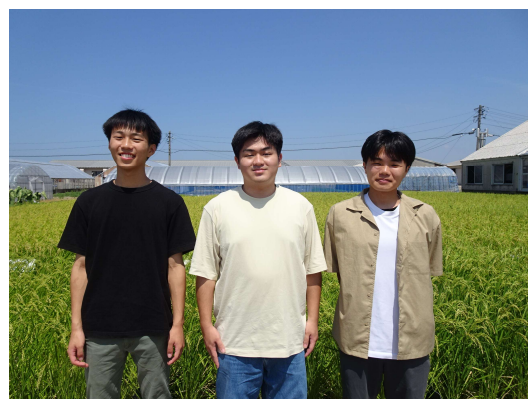
取組名：

雑草も野菜クズも宝に変える！
牛の微生物の力でエネルギーと肥料を
生むメタン発酵
ー平常時も災害時も資源循環で暮らしを助けるー

取組概要：

- ①ショッピングセンターに設置したメタン発酵装置による、廃棄野菜をエネルギー化する取組
- ②メタン発酵時に発生する発酵液を、液肥として有効利用する取組

平時にも災害時にも役立つ
システムを目指します！



金沢工業大学

チーム名：SDGs Global Youth Innovators

取組名：

コンポストで実現する循環型社会

取組概要：

大学の学食から出る食品残渣をコンポストとして活用し、その堆肥を用いて野菜やハーブを栽培しています。

また、コンポストについて伝えるワークショップや、ハーブを加工して得られるエッセンシャルオイルを活用したワークショップを通じて、コンポストの普及を目指しています。

食品ロスや循環型社会に関わり、産官学連携を通して多くの知識を得ています。地域の人々と協力しながら、持続可能な未来づくりに貢献していきたいです！



大学・専門学校の部(3/5)

仁愛大学

チーム名：仁愛大学 人間生活学部 健康栄養学科 Aクラス

取組名：

利用しづらい魚を活用した献立開発

取組概要：

私たちのチームは、前期の講義で学んだ献立作りの知識を活かし、地元鮮魚店の協力のもと、小さく骨が多い等の理由により利用しづらい魚を自ら捌き、ランチメニューの開発をします。最終的には、地元飲食店で定食として実際に販売を目指しています。自分達の環境問題に対する意識変化についてもデータを取って検討したいです。

まず、自分達が知ること
で、他の人の意識を
変えるきっかけに。



仁愛大学

チーム名：ちいむAMACO

取組名：

利用しづらい魚を活用した献立開発

取組概要：

私たちのチームは、地元鮮魚店の協力を得て、福井の海水産業の実態を学び、利用しづらい魚の活用に取り組みます。活動内容としては、これらの魚の捌き方や、味・食感の違いを実習を通して体験的に学びます。また、それらを使ったランチ献立の提案と試食会を実施し、地元鮮魚店での販売につなげることを目指します。海水産物における食品ロスについて、知ってもらふ活動にしたいです。

食品ロスを減らすために
もおいしく調理したい！



大学・専門学校の部(4/5)

福井県立大学 チーム名：福井県立大学 若狭かき研

取組名：かき天然採苗技術の研究

生産性が高く、品質がよい小浜湾のかき！
小浜湾の豊かな環境を活かした持続可能で環境に優しいかき天然採苗技術の確立を目指す

取組概要：かき天然採苗技術の向上

- ①地域で廃棄されるかに殻や梅の種を使って、採苗器をつくる取組
- ②小浜湾のかきの幼生調査分析の取組

地域協働で小浜湾のかき養殖
をさらに盛り上げます！



福井県立大学 チーム名：福井県立大学 浜口ラボ

取組名：小浜市カーボンニュートラルプロジェクト

行政や地元の漁業者と協力し、エビアマモを軸にしたカーボンニュートラルに取り組む！

取組概要：小浜市の水産物でカーボンニュートラルを目指す

- ①海藻、藻場のCO₂貯留量の計算
- ②海産物のCO₂排出量の計算
- ③ニュートラル化で小浜の水産物に付加価値を

取組を通じて、小浜市の水産資源
を有名にしたいです！



大学・専門学校の部(5/5)

福井工業大学 チーム名：粕の雫

取組名：

フードロス削減！酒粕有効活用法

取組概要：

廃棄されている酒粕を使用したヨーグルトドリンクの開発に取り組んでいます。酒粕には、豊富な食物繊維とアミノ酸の一種であるGABAが少量含まれています。GABAには、ストレス軽減等の効果があるため、ヨーグルトドリンクの付加価値を高めるべく、その含有量をどれだけ増やせるかに挑戦します！



約2年に及ぶレシピ開発、現在進行中のGABA増加実験から人々の健康や環境に寄り添ったおいしい酒粕ドリンクになるよう頑張っています。多くの方から受け入れられ市場に並ぶようになれば嬉しいです。

高校の部(1/7)

富山県立上市高等学校 チーム名：グリーン部

取組名：

もったいない
～規格外のニンジンでスイーツ作り～

取組概要：

規格外品や葉など、通常は廃棄されるニンジンを使った、クッキーなどを開発し、食品ロス削減に取り組めます。ふれあい交流では地域の小学生と一緒に、種まきや収穫を行います。

ニンジンの量と味のバランスを試行錯誤しています。将来は商品化できたらいいなと思っています。



富山県立富山商業高校 チーム名：GO！とみしょーず

取組名：富商ミツバチプロジェクト

取組の概要：

富山市中心部（富山市民プラザ屋上）で「都市養蜂」を展開し、採れたハチミツを商品化しています。

夏の蜜源不足の課題に対し、市民にひまわりの種を配布し、各家庭で育成してもらうことで、蜜源を確保すると同時に市内の緑化に貢献しました。

秋には種を買い戻すことで、自然と地域が連携する循環型社会の新しいモデルを創出する、新しい取り組みです。

5月ひまわりの種配布

7・8月ミツバチ教室

10月商品販売

& ひまわりの種買い取り



先輩から引き継いだこのプロジェクトを
より持続可能な形に！



高校の部(2/7)

富山県立中央農業高等学校

チーム名：中農MIRAI米づくりプロジェクトチーム

取組名：人にも環境にも優しい米づくりを目指して
～ アイガモロボとドジョウを活用したアクアポニックス
(Aquaponics)水稲栽培法の研究 ～

取組概要：

ドジョウとアイガモロボを活用した水稲栽培実験に、今年は田植え時に100%有機質のペースト肥料を取り入れ有用性を試験しました。固形の肥料を使うときに廃棄される袋を削減すると同時に、元肥・追肥を行う手間が省けて作業軽減となり、環境にも人にも優しい取組みとなっています。

この研究を通して豊かな地球環境を創造し、持続可能な農業のMIRAIを目指します。

全国農業高校お米甲子園2024プレゼンテーション部門において、グランプリ(最高賞)を受賞しました。この「どじょう米」の普及に向けて、これからも研究を続けていきます！



富山県立氷見高等学校

チーム名：海洋科学科

取組名：

廃棄ゼロの商品作りを考える

取組概要：

私たちのチームは、氷見漁港で水揚げされた未利用魚を活用した商品開発に取り組んでいます。また、その過程で発生する残滓を肥料化（県認可）し、農業科学科や農家へ提供することで、環境負荷低減に貢献する活動をしています。

美味しい物を作るだけでなく、環境に配慮した商品作りを！



高校の部(3/7)

富山県立氷見高等学校 チーム名：農業科学科 野菜専攻

取組名：

BLOF理論に基づく地域資源を活用した有機栽培の実践

持続可能な未来のための
有機栽培を実践！

取組概要：

氷見市は水産資源が豊富であるという地域性を生かし、海洋科学科が製造した肥料などを活用することで、地域資源循環型農業の確立を目指しています。化学農薬・化学肥料の使用量・使用面積を減らすことで、将来的には有機JASを取得を目指しています。



富山国際大学附属高等学校 チーム名：ネイポジあいな組

取組名：

協生農法＋納豆菌を活用した
土壌改善による野菜の栽培

森の生態系をそのまま
都市に持ってきます！

取組概要：

私たちのチームは、納豆菌による土壌改善に着目。菌を活性化する土壌内ヒーターと環境センサーを搭載したポッドも開発し、協生農法を実施。無農薬、無化学肥料で良質な野菜を栽培するだけでなく、農業で都市の生物多様性の創出にも貢献。



高校の部(4/7)

石川県立翠星高等学校 チーム名：食品科学研究会

取組名：

酒米削り粉活用プロジェクト

取組概要：

私たちのチームは、製造過程で廃棄される酒米削り粉を輸入小麦粉の代替として使用することで食品ロスの削減に取り組めます。

この取組を通じて、多くの方に酒米削り粉の可能性を伝えたいです。



学校法人福井学園福井南高等学校 チーム名：高崎ゼミ

取組名：駆除された野生動物を活かす

～Gibier cooking for no waste～

野生動物と共生するための第一歩として「野生動物の理解」を重視。そのきっかけ作りとして、駆除された野生動物を利活用する活動に取り組んでいます。

取組概要：駆除された野生動物を活用して、ジビエ料理やなめし革等を作る

- ① 駆除個体をジビエ料理として利用するメニュー開発
- ② クマやシカの皮をなめして加工する
- ③ 駆除個体の爪でキーホルダーや笛を作る

駆除された野生動物を無駄にせず、少しでも活用できればと思います！



高校の部(5/7)

福井県立大野高等学校 チーム名：JRC「結」

取組名：

シン・ふるさとスイーツ「すこスコーン」

取組概要：

私達は、里芋の芋茎を余すところなく活用した郷土料理「すこ」を使ったスコーンを開発しました。現在は、新たな郷土銘菓として定着させるため、

- ①「すこスコーン」の商標登録
 - ②地元の企業と連携したオリジナルのクリームティーの開発
- に挑戦しています！

“すこ”ふる
頑張ります！



福井県立坂井高等学校

チーム名：食農科学科農業コース草花班サステナチーム

取組名：私たちに何が出来るのか ～絶滅のルートをとどる草花たち～

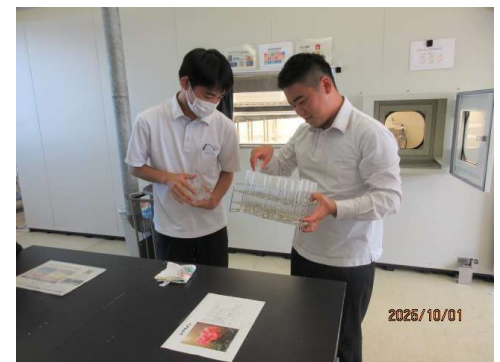
絶滅の危機に瀕しているアゼオトギリとエチゼンダイモンジソウを保全し、未来に繋いでいく！

また、アゼオトギリの持つ忌避効果を活用し、持続可能な農業を実現できないか研究しています！

取組概要：絶滅危惧種の草花の保全活動とそれを利用した忌避行動の研究

- ①アゼオトギリの栽培・移植活動
- ②エチゼンダイモンジソウの栽培・移植活動
- ③アゼオトギリを利用したスクミリンゴガイの忌避行動の関連可能性の研究

一見、普通の雑草に見える草花が
絶滅危惧種になっているという現状を
知ってもらいたいです！



高校の部(6/7)

福井県立武生高等学校 チーム名：かにさんきとさん

取組名：

カニからキトサン、キトサンからフィルムを作る

取組概要：

廃棄される蟹の殻を利用してバイオ製品を作ること、ゴミとして燃やされる際の環境負荷を軽減し、資源のリユースにも貢献する。

蟹の殻からラップのようなフィルムを作成することを目指し、蟹の殻からキトサンを精製する実験にも取り組む。

大量に捨てられるカニ殻を有効活用したい！環境問題を解決する実験につながれば嬉しいです。



福井県立武生高等学校 チーム名：武生高校SE2班

取組名：

ワルカウォータータワーはヒートアイランド現象を解消できるのか

取組概要：

エネルギーを消費せずに水を集めるワルカウォータータワーを都市部に設置することで、道路等に付着する前の水を集めて農業に利用する。さらに、ワルカウォータータワーからの水分蒸発量が多いことを利用し、ヒートアイランド現象の解消ができないか検討する。

より多くのデータを得るため、試行錯誤しながら、実験を重ねています。日本での実用化を目指してこれからも頑張ります！！



高校の部(7/7)

福井県立敦賀工業高等学校 チーム名：敦エライオンズ

取組名：

身近な自然環境から得られる体験を発信する

「自然の恵み発見カレンダー」の創作

取組概要：

私達は、身近な自然の恵みを活かし、

①ゴーヤを使った「グリーンカーテン」

②三方五湖に自生するヨシを利用した「よしず」

(すだれの一つ)

③植物の発芽時期や季節の移り変わりが一目で分かる

カレンダー等を作成し、これらの主な取組を通じて、

楽しみながら省エネや環境学習に取り組めます。

初めての挑戦ですが、楽しむ
ことを大切に、頑張ります！



福井県立福井農林高等学校 チーム名：ペピーノLaBo

取組名：

ペピーノの広げるトマトの可能性

取組概要：

ペピーノを台木に用いたトマトの栽培技術の確立。ペピーノを台木とすることで土壌伝染性病害の感染を防ぎ、土壌消毒に必要な農薬使用量を削減できる。

ペピーノを台木として活用することで、農薬使用量削減のほかトマトの高糖度化・台木苗に要する経費の削減も期待できる。

私たちはコスト問題や環境に配慮したトマトを育てるために、ペピーノ台木を利用して低コストで高品質なトマトが作れる栽培法を普及させたいと思い活動しています。チーム一丸となって栽培実験やSNSを利用した普及活動に取り組んでいます！！

